

## 個人金融資産動向：2011年第1四半期

宮本 佐知子

## ■ 要 約 ■

1. 2011年3月末の個人金融資産残高は、1,476兆4,036億円（前期比0.8%減、前年比0.5%減）となった。新規資金流入に限られる一方で、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響もあり株価下落や円高進行に伴う時価変動の影響が大きく、年度末値は再度減少に転じた。
2. 2011年第1四半期の各金融資産への個人資金純流出入の特徴は次の通りである。第一に、定期性預金からの資金流出が継続し、流出額が拡大した。一方、流動性預金への選好は続いており、足下では震災の影響で流動性資金を確保する動きも見られている。第二に、債券からは資金流出が続いており、国債からも9四半期連続で資金が流出した。第三に、対外証券投資と上場株式には資金が流入した。第四に、投資信託からは僅かながら資金流出となった。震災の影響については、投資信託への資金流入動向への影響は一時的との見方が多いが、商品選好には変化も見られている。総じて、震災を経験して個人が分散投資の重要性を意識するようになったとも考えられる。
3. ゆうちょ銀行から2011年3月決算が公表された。2011年3月末時点の預金残高は175兆3,041億円であり、2010年3月末に比べて1兆1,646億円減少した。ゆうちょ銀行の預金ピークは2000年であり、それ以降11年連続で預金減少が続いていることになる。ただし、預金残高の前年同期差で見ると減少幅は、2005年以降縮小しており、この動きは2011年1-3月も続いている。今後は、定期性預金の集中満期や震災対応に伴う預金残高への影響が注目される。

## I. 2011年第1四半期の個人金融資産動向

### 1. 個人金融資産残高の概況

2011年6月17日に発表された日本銀行『資金循環統計』によれば、2011年3月末の個人金融資産残高は、1,476兆4,036億円（前期比0.8%減、前年比0.5%減）となった（図表1）。新規資金流入が限られる一方で、3月11日に発生した東日本大震災の影響もあり株価下落や円高進行に伴う時価変動の影響が大きく、年度末値は再度減少に転じた。

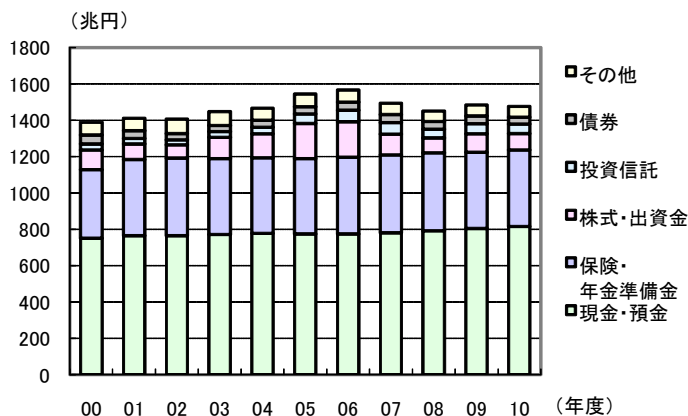
### 2. 各金融資産の純資金流入の動向

図表2は、四半期ごとの主な金融資産への資金純流入の動きである。足下の特徴は次の通りである。

第一に、定期性預金からの資金流出が継続し、流出額が拡大した。背景には、定期預金と普通預金の金利差縮小が続き、流動性が長期にわたり制限される定期預金の魅力が低下していることが挙げられる。一方、流動性預金への選好は続いており、足下では震災の影響で流動性資金を確保する動きも見られている。

第二に、債券からは資金流出が続いており、国債からも9四半期連続で資金が流出した。特に2011年1-3月期の国債からの流出額は約1.5兆円と、前期に比べて倍以上増加したが、このうち約1兆円は個人向け国債の償還金と見られる。

図表1 個人金融資産の残高と内訳



	2000年度	2010年度
金融資産計 (兆円)	1389	1476
(内訳)		
現金・預金	54.1%	55.3%
債券	3.5%	2.6%
(国債)	0.7%	2.1%
投資信託	2.4%	3.6%
株式・出資金	7.7%	6.1%
保険・年金準備金	27.2%	28.4%
その他	5.1%	4.0%

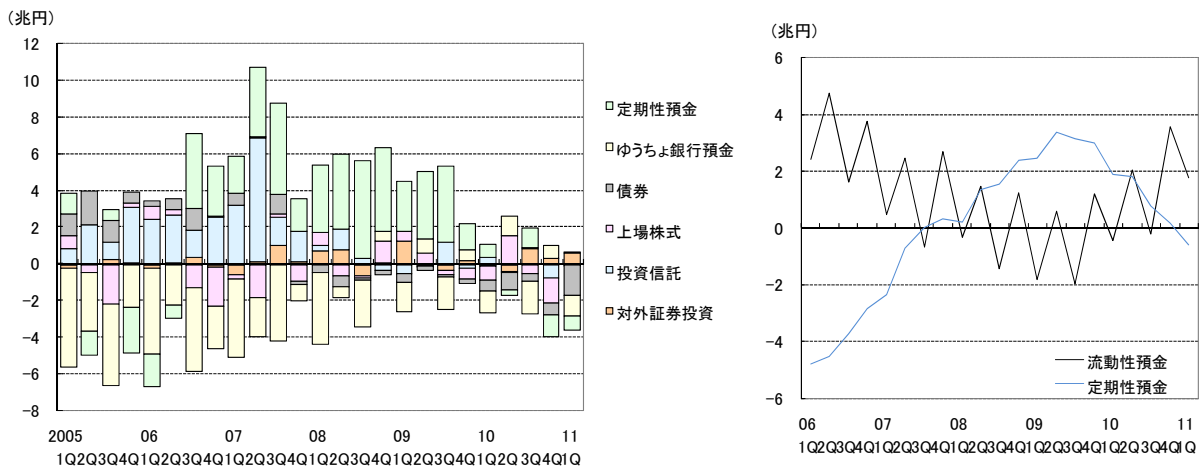
(出所) 日本銀行「資金循環統計」より野村資本市場研究所作成

第三に、対外証券投資と上場株式には資金が流入した。特に、対外証券投資への流入は、円高傾向が続く中で3 四半期連続となった。また上場株式については、東日本大震災を受けて平均株価は約2割急落したが、小幅ながら資金流入となった。

第四に、投資信託については、わずかながら資金流出となった。図表3の投資信託の資金純増額ランキングによると、人気を集めているのは昨年同様、REIT型投信や通貨選択型投信であるが、2011年1-3月期にはREIT型投信の人気が一層高まった。特に人気を集める投信は高い配金利回りが特徴で、基準価額低下の影響もあって3月の配金を基に計算すると10%台後半になる。また、2011年1月から個人向け国債の償還が始まったが、償還金が投資信託へシフトする動きは限られており、事前に業界で期待されていた国内債券投信など低リスク投信への資金流入も伸び悩んでいる。

なお、投資信託への震災の影響については、震災直後は資金流出へ転じる動きも見られたが、その後は資金流入となり、総じて影響は一時的との見方が多い。資金純流入上位投信に見る商品選好は、震災前と比べて様変わりしたわけではないが、変化も見られている。例えば、震災に伴う為替相場変動の影響で、豪ドル債投信への資金純流入が増え、大和住銀の「短期豪ドル債オープン（毎月分配型）」の純資産残高は3月に1兆円を突破した<sup>1</sup>。一方、日本株インデックス連動型投信は、3月以降は上位に入っていない。震災後の株価下落を受けて底値拾いの動きが見られたものの、資金純増ランキング上位は国外投信が占めている。

図表2 各個人金融資産の資金純流出入（四半期ベース）



(注) 右図については、四半期移動平均値であり、定期性預金にはゆうちょ銀行預金を含む。  
(出所) 日本銀行「資金循環統計」より野村資本市場研究所作成

<sup>1</sup> 「大和住銀の短期豪ドル債オープンが1兆円突破」ファンド情報 2011/4/11。

震災復興のために、野村アセットマネジメントでは「東日本復興支援債券ファンド 1105」を設定した。これは、東日本大震災からの復興に寄与すると考えられる政府機関や地方公共団体、企業が発行する債券に投資するもので、個人投資家が資産運用を通じて震災復興に貢献できる商品として開発された。販売手数料は徴収せず、信託報酬の一部も被災地へ寄付し、寄付した先や金額を運用報告書で掲載する予定である。趣旨に賛同した大口顧客から小口顧客まで幅広い層が購入しており、これまで投信を買わなかった顧客が購入しているという点でも業界の注目も集めている<sup>2</sup>。

総じて、震災を経験して個人が、分散投資の重要性を意識するようになったとも考えられよう。

図表 3 投資信託の資金純増額ランキング (2011年1月～2011年4月)

順位	2011年1月	2011年2月	2011年3月	2011年4月
1	野村米国ハイ・イールド債券投信 (ブラジルレアルコース) 毎月分配型	フィデリティ・USリート・ファンド B (為替ヘッジなし)	新光US-REITオープン	新光US-REITオープン
2	野村ドイツ・高配当インフラ関連 株投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	野村ドイツ・高配当インフラ関連 株投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	短期豪ドル債オープン (毎月分配型)	フィデリティ・USハイ・ イールドファンド
3	フィデリティ・USリート・ファンド B (為替ヘッジなし)	新光US-REITオープン	フィデリティ・USハイ・ イールドファンド	日興ハイブリッド3分法ファンド 毎月分配型(新興国通貨戦略コース)
4	短期豪ドル債オープン (毎月分配型)	日興ハイブリッド3分法ファンド 毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)	野村ドイツ・高配当インフラ関連 株投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	ラサール・グローバルREIT ファンド(毎月分配型)
5	日興ハイブリッド3分法ファンド 毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)	野村米国ハイ・イールド債券投信 (ブラジルレアルコース) 毎月分配型	ラサール・グローバルREIT ファンド(毎月分配型)	野村ドイツ・高配当インフラ関連 株投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型
6	新光US-REITオープン	短期豪ドル債オープン (毎月分配型)	日興ハイブリッド3分法ファンド 毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	ダイワ・US-REIT・オープン (毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)
7	エマーシング・ハイ・イールド・ ボンド・ファンド・ ブラジルレアルコース	日経225連動型上場投資信託	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン (毎月分配型)	野村グローバルCB投信 (資源国通貨コース)毎月分配型	エマーシング・ハイ・イールド・ ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	野村グローバルCB投信 (資源国通貨コース)毎月分配型
9	上場インデックスファンドTOPIX	エマーシング・ハイ・イールド・ ボンド・ファンド・ ブラジルレアルコース	ダイワ・グローバルREIT・ オープン(毎月分配型)	DIAM J-REITオープン (毎月決算)
10	ラサール・グローバルREIT ファンド(毎月分配型)	フィデリティ・USハイ・ イールドファンド	PIMCO 米国ハイ・イールド債券 通貨選択型ファンド (ブラジルレアルコース)	エマーシング・ハイ・イールド・ ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース

(出所) R&I 資料より野村資本市場研究所作成

<sup>2</sup> 「毎月分配型ブームは終わるのか」 ファンド情報 2011/5/30。

## Ⅱ. ゆうちょ銀行 2011 年 3 月期決算に見る預金動向

### 1. 11 年連続の預金減少

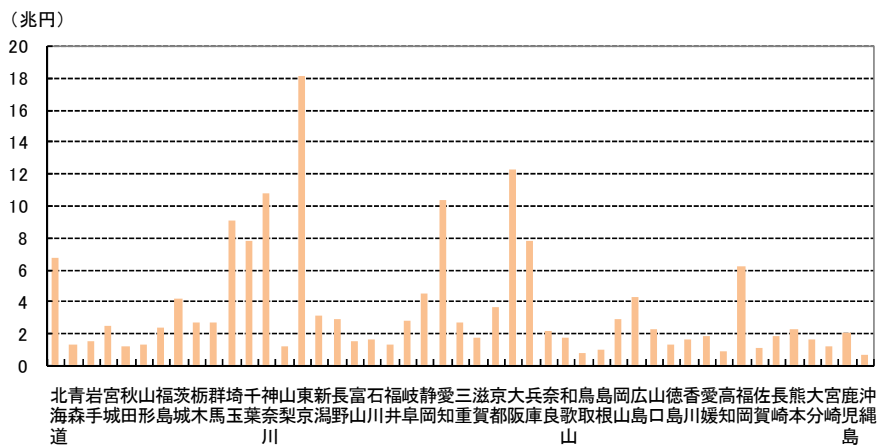
2011 年 5 月 26 日、ゆうちょ銀行の 2011 年 3 月期決算が公表された。2011 年 3 月末時点の預金残高は、175 兆 3,041 億円であった（図表 4、5）。2010 年 3 月末に比べると、1 兆 1,646 億円の減少である<sup>3</sup>。ゆうちょ銀行の預金ピークは 2000 年であり、それ以降 11 年連続で預金減少が続いている。また後述するように、2011 年 3 月期から定期性預金の集中満期を迎

図表 4 ゆうちょ銀行預金残高の推移



(出所) ゆうちょ銀行資料より野村資本市場研究所作成

図表 5 ゆうちょ銀行地域別預金残高

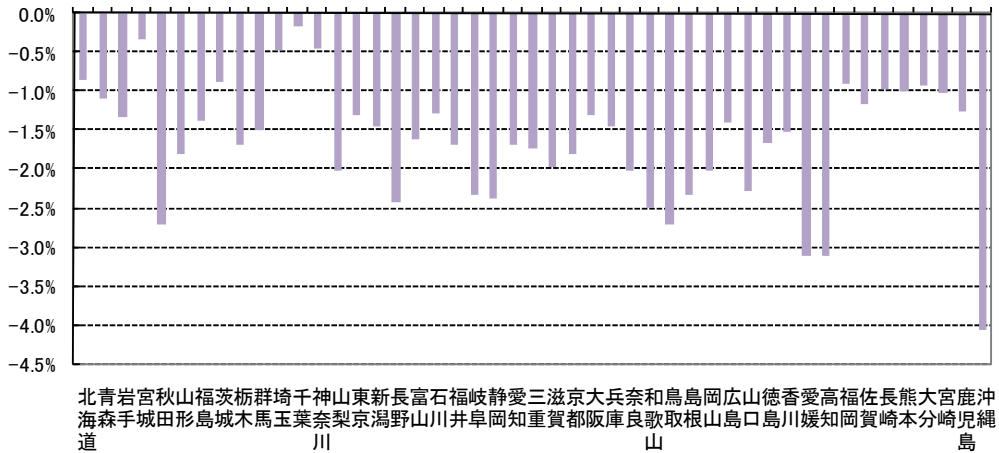


(出所) ゆうちょ銀行資料より野村資本市場研究所作成

<sup>3</sup> 未払い利子を含む値。ただし図表 4、5 では除いた値を表示。

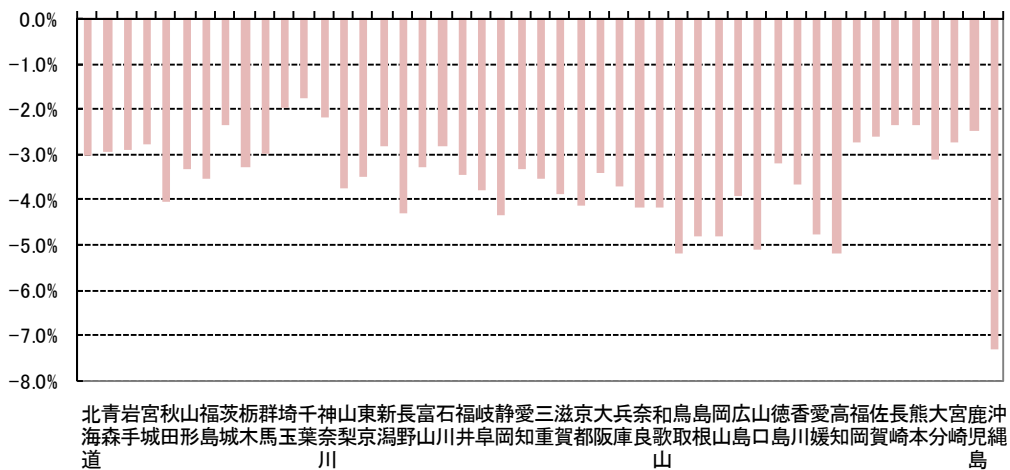
えていることも、預金減少の背景にある。地域別に見ると、全ての都道府県で預金残高は減少しており、預金の7割を占める定期性預金残高も、全ての都道府県で減少に転じた（図表6、7）。

図表6 ゆうちょ銀行地域別預金残高の変化率（2010年3月から2011年3月）



（出所）ゆうちょ銀行資料より野村資本市場研究所作成

図表7 ゆうちょ銀行地域別定期性預金残高の変化率（2010年3月から2011年3月）

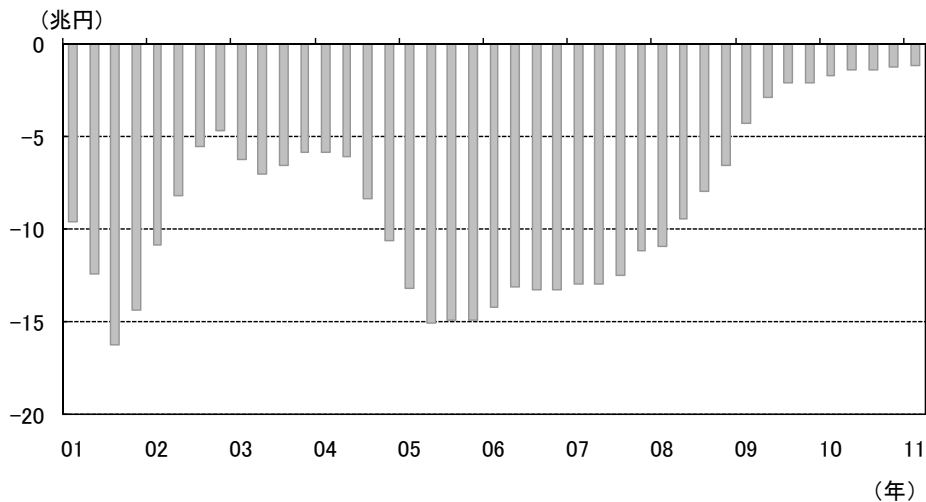


（出所）ゆうちょ銀行資料より野村資本市場研究所作成

## 2. 預金減少幅の縮小は続く

預金残高の減少は続いているものの、前年同期差で見ると減少幅は、2005年以降、縮小が続いており、この動きは2011年1-3月も続いている（図表8）。地域別で見ても、預金残高の減少は続いているものの、その減少幅は16府県で前年よりも縮小した。

図表8 ゆうちょ銀行預金残高の前年差の推移



(注) 2007年10月に日本郵政公社は民営化した。図では民営化前後で振替貯金等を調整してある。  
 (出所) ゆうちょ銀行資料、旧日本郵政公社公表資料より野村資本市場研究所作成

## 3. 定期性預金の集中満期に伴う影響

ゆうちょ銀行では2011年3月期から、「定期性預金」の集中満期を迎えている（図表9）。2011年3月期は、満期払戻金の一部が通常貯金等へ移行した影響で、「定期性預金」が減少したのに対して「流動性預金」が増加しており（図表10）、この動きは全都道府県で共通して見られた。また、「定期性預金」の内訳を見ると、「定期貯金等」が減少し「定額貯金等」が増加した。この背景には、ゆうちょ銀行各店舗で定額貯金の満期払戻金の再獲得に努めたことや、2010年4月1日から1年間、定額貯金の金利上乗せキャンペーン（定額貯金に3年以上預け入れると店頭表示金利に年0.10%上乗せするというもので、対象は現金、通常貯金、（10年経過）定額貯金満期金である。）を実施したことが挙げられる。ゆうちょ銀行では、このキャンペーンの実施期間を更に1年間延長し、2012年3月末まで行うこととしており<sup>4</sup>、2011年以降も続く定期性預金の大量満期に備えている。

<sup>4</sup> [http://www.jp-bank.japanpost.jp/aboutus/press/2011/abt\\_prs\\_id000645.html](http://www.jp-bank.japanpost.jp/aboutus/press/2011/abt_prs_id000645.html) 参照。

この他、2011年3月までに満期を迎えた定期・定額貯金の受け皿となった商品としては、個人向け保険が指摘されている<sup>5</sup>。特に預金に比べて利回りが有利な「一時払い終身保険」<sup>6</sup>の新規契約が伸びている。

図表9 ゆうちょ銀行定期性預金（定期貯金と定額貯金）の残存期間別残高（2010年9月末）

定期貯金			定額貯金		
残存時間	金額(百万円)	構成比	残存時間	金額(百万円)	構成比
6ヶ月未満	13,995,132	56%	1年未満	11,528,093	13%
6ヶ月以上1年未満	8,703,744	35%	1年以上3年未満	7,988,063	9%
1年以上2年未満	691,402	3%	3年以上5年未満	6,058,035	7%
2年以上3年未満	846,746	3%	5年以上7年未満	22,743,775	25%
3年以上	583,691	2%	7年以上	43,654,757	47%
合計	24,820,717	100%	合計	91,972,725	100%

- (注) 1. 定期貯金は、予め預入期間を指定して預け入れる貯金で、最長期間は5年。  
 2. 定額貯金は、預入日から起算して6か月経過後は払戻し自由の貯金で、3年までは6か月ごとに段階的に金利が変わり、10年間半年複利。  
 3. 未払利子を除く。

(出所) ゆうちょ銀行資料より野村資本市場研究所作成

図表10 ゆうちょ銀行預金の種類別残高

(単位:百万円)

	2010年度末		2009年度末		変化
	金額	構成比	金額	構成比	金額
流動性預金	59,846,906	34.3%	57,113,869	32.5%	2,733,037
うち振替貯金	8,714,719	5.0%	7,597,731	4.3%	1,116,988
うち通常貯金等	50,709,948	29.0%	49,087,540	27.9%	1,622,408
うち貯蓄貯金	422,238	0.2%	428,597	0.2%	-6,359
定期性預金	114,504,523	65.6%	118,381,289	67.3%	-3,876,766
うち定期貯金等	22,005,855	12.6%	27,475,685	15.6%	-5,469,830
うち定額貯金等	92,494,319	53.0%	90,891,424	51.7%	1,602,895
その他の預金	301,789	0.2%	302,556	0.2%	-766
計	174,653,220	100.0%	175,797,715	100.0%	-1,144,495
譲渡性預金	-	-	-	-	-
合計	174,653,220	100.0%	175,797,715	100.0%	-1,144,495

(注) 未払い利子を除く。

(出所) ゆうちょ銀行資料より野村資本市場研究所作成

<sup>5</sup> 「個人保険 契約減に歯止め」日本経済新聞 2011/6/8。

<sup>6</sup> 契約の際に一括で保険料を払い込む商品で、死亡保障が生涯続く一方、10年後に解約すれば定期預金より高い利回りを得られるように、貯蓄と保険を組み合わせた性格を持つ商品。契約者が死亡した場合、相続人が受け取る保険金は、法定相続人1人当たり500万円の非課税枠がある。



## 4. 震災対応

3月11日に発生した東日本大震災の被災者への支援として、ゆうちょ銀行及び郵便局では、通帳や印章、カードなどを失った被災者に対し、「非常取扱い」を実施している。運転免許証など本人確認ができる証明書類があれば、ゆうちょ銀行の店舗・郵便局の窓口で一人20万円までを払い戻すというもので、東北6県では3月13日から、全国では3月14日から開始した。ゆうちょ銀行の場合、個人が預金口座を保有している割合は東北のみならず他地域でも高いことから（図表11）、多くの被災者が利用すると見込まれる。払戻しの対象は、通常貯金、定額貯金、定期貯金、民営化以前に預け入れられた積立郵便貯金などである。被災者への払戻しは、休日の臨時営業や避難所などへの出張サービスでも実施している。

図表11 個人の預金口座保有状況

	銀行計	銀行							信用金庫・信用組合	農協・漁業	ゆうちょ銀行	その他金融機関	金融機関を利用せず	
		都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信託銀行	外国銀行	インターネット	その他の銀行						
全体	97.6	61.5	60.2	14.2	7.5	2.2	59.2	9.3	24.8	10.8	78.3	5.9	0.3	
地域別	北海道	93.9	25.7	66.2	50.0	4.1	2.0	60.1	8.1	29.1	8.8	81.1	5.4	0.7
	東北	99.6	33.5	92.6	17.8	3.9	1.3	65.2	11.7	23.0	10.9	77.8	5.7	0.4
	関東	98.0	84.8	41.3	6.9	9.3	2.9	58.9	9.2	20.4	6.6	74.6	6.8	0.3
	北陸	98.5	25.2	88.1	14.8	4.4	1.5	52.6	7.4	29.6	17.8	82.2	9.6	-
	中部	95.6	60.0	58.1	18.4	5.9	1.9	61.0	10.8	39.6	19.3	77.8	5.3	0.4
	近畿	97.5	81.4	45.5	10.0	9.0	1.8	57.5	8.6	25.6	9.0	79.2	4.5	0.3
	中国	98.1	29.5	88.9	19.8	7.2	-	59.4	9.7	30.0	20.3	84.5	4.8	-
	四国	99.1	32.5	88.6	29.8	7.0	3.5	62.3	10.5	21.9	14.9	83.3	8.8	-
九州	98.2	29.2	89.3	14.8	6.1	2.3	58.3	7.9	15.3	8.2	82.4	4.9	-	

(注) 現在、個人で預貯金口座を持っている金融機関（複数回答可）。調査対象は3500人。単位は%。

(出所) 全国銀行協会「よりよい銀行づくりのためのアンケート（2009年度）」より野村資本市場研究所作成